

# 平成28年度北海道文化服装専門学校 自己評価

(評価対象期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日)

## 【北海道文化服装専門学校の学校評価の進め方について】

本校では、学校評価を行うにあたって、教職員が評価表を記入し、その評価内容を集約したものを自己評価としている。  
その後、この自己評価は学校関係者評価委員会において、各委員より意見聴取をする上での参考資料としても活用されている。

## 1. 学校の教育目標

- ① ファッション産業の発展に伴い、社会ニーズに必要な人材を育成するために「服飾・ファッション業界を目指す人には豊かな学習環境と教員の質の向上を目指す」を目標とする。
- ② 「建学の精神」「教育目標」のもと学生たちの夢と希望を叶えられるよう、企業と学校が連携し、時代が要請するような高度な専門性を持った即戦力となる人材育成をする。

という教育目標については、全ての教職員がきちんと理解している。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

平成27年度当初より取り掛かっていた「職業実践専門課程」の認可申請に向けて、学校運営の整備・見直しを図り、自己評価及び学校関係者評価委員会において挙げられた意見のうち、平成28年度においても、さらなる推進を図ることを目的として、前年度同様となるが、導入が比較的容易な4点について、本年度も重点的に取り組んできた。

- (1) 全学科教育内容の充実と企業と連携した各科目の実践的な教育を実施する  
(インターンシップ、企業実習)
- (2) 各ファッションコンテストに学生を挑戦させる
- (3) 各種検定資格の合格率向上のため指導強化に努める
- (4) 就職率向上のため、就職指導において学生の能力適性を見極め、担任・就職担当があらゆる面から協力体制をつくる

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

### (1) 教育理念・目標

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1
1	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3 2 1
2	・学校における職業教育の特色は何か	3 2 1
3	・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3 2 1
4	・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3 2 1
5	・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3 2 1

教育理念・目標の項目については、前年度と比べ、「職業教育」の項目の評価が上がっている。「学校の理念・目的・育成人材像」の項目については、評価が高く、教職員に専門分野の特性等がきちんと理解されているといえるが、ファッション業界における職種や業種も年々変化しているため、もう少し広い視野で学生に職業選択をさせる必要あるとの意見があった。

また、インターンシップの必要性については学生も理解度を高めているため、より多くのインターンシップ先を確保し、学生が求めるより実践的な教育を学べる場を提供する必要性がある。

## (2) 学校運営

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1		
6	・目的等に沿った運営方針が策定されているか	3	2	1
7	・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	2	1
8	・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	2	1
9	・人事、給与に関する規程等は整備されているか	3	2	1
10	・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3	2	1
11	・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	2	1
12	・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3	2	1
13	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	2	1

学校運営の項目については、前年度と比べ、「業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制の整備」の評価が下がっている。

前年度同様、意見が多く挙げられているのが、校内の各種情報の統一化についてである。情報の統一化を図ることにより、情報の重複やミスを減らし、業務処理を効率的に進めることが望まれている。

また、各行事などの会議において教職員間の業務分担や内容の検討がうまくできていないのではないかと意見もあった。

## (3) 教育活動

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1		
14	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	2	1
15	・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	2	1
16	・学科等のカリキュラムは、体系的に編成されているか	3	2	1
17	・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	2	1
18	・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	2	1
19	・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3	2	1
20	・授業評価の実施・評価体制はあるか	3	2	1
21	・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	2	1
22	・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3	2	1
23	・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	2	1
24	・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	2	1
25	・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3	2	1
26	・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	2	1
27	・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	2	1

教育活動の項目については、前年度は14項目中優れているの評価は10項目であったが、今年度は7項目となり、3項目での評価が下がっている。前年同様、教職員が外部研修に参加し、知識や技術を修得するための環境の整備が望まれており、それにより、教職員の質的向上を図り、学生への指導についても、良い影響を与えようと考えられる。そのため、教職員に対しては、職種別、階層別の計画的な教育計画の構築が望まれる。

また、今後は教員相互間で授業を公開することとなったため、これまで各教員間でばらつきのあった学生への指導体制の改善が期待される。

#### (4) 学修成果

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1		
28	・就職率の向上が図られているか	3	2	1
29	・資格取得率の向上が図られているか	3	2	1
30	・退学率の低減が図られているか	3	2	1
31	・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	2	1
32	・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3	2	1

学修成果の項目については、前年度に比べ、「資格取得率の向上」の項目の評価が上がっている。

例年、意見が挙がる事柄としては、卒業生の活躍状況や所属する企業などの情報が、学生の就職への意識付けや実際の就職活動に大きな影響を与えるため、積極的に情報を収集し、分析、学生が活かしやすい情報として評価することが望まれている。

#### (5) 学生支援

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1		
33	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3	2	1
34	・学生相談に関する体制は整備されているか	3	2	1
35	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	2	1
36	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	2	1
37	・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	2	1
38	・学生の生活環境への支援は行われているか	3	2	1
39	・保護者と適切に連携しているか	3	2	1
40	・卒業生への支援体制はあるか	3	2	1
41	・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	2	1
42	・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	2	1

学生支援の項目については、前年度と同様の評価であった。

意見が多く挙がっていたのが、「進路・就職に関する支援体制の整備」に対する意見と「学生相談に関わる体制の整備」に対する意見であった。

進路・就職に関する項目では、学生が望む就職先で東京に本社がある企業の場合、面接が道外で行われることがほとんどのため、活動費の負担が多くなってしまったため、負担軽減のために企業との連携を深め、道内で一次面接が可能となる企業を増やすことができないかとの意見があった。

次に学生相談に関する項目では、現在、学生からの個別相談を担当が受けているが、担任以外の教員への個別相談ができるような環境を設けるべきとの意見があった。また、個人相談ではなく、学生数名とのディスカッションにより、言い出せないことや気付けにくいことに対する改善策を見出せる場になるのではないかと意見もあった。

## (6) 教育環境

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1		
43	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	2	1
44	・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	2	1
45	・防災に対する体制は整備されているか	3	2	1

教育環境の項目については、前年度と同様の評価であった。

例年、意見が挙げられている意見として、「校舎の設備」に対する意見であり、夏期の暑さに対する対応策が挙げられており、今年度は、クラスごとに扇風機を導入して改善を図った。

また、校外でのファッションショーや展示の際に、作品の移送方法が確立していないため、移送方法の検討に時間が取られすぎることとも意見として挙げられている。

## (7) 学生の受入れ募集

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1		
46	・学生募集活動は、適正に行われているか	3	2	1
47	・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	2	1
48	・学納金は妥当なものとなっているか	3	2	1

学生の受入れ募集の項目については、前年度と比べ、「学納金」の項目の評価が下がっている。

SNSが思っていた以上に浸透していないとの意見や、学内でのWi-Fi設備の使用料を授業料に転嫁してもよいのではないかとの意見がある。

また、学生募集については高校生の要望を取り入れるためのアンケートについても、記入が負担になっているため、工夫を凝らす必要があるとの意見も挙げられた。

## (8) 財務

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1		
49	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	2	1
50	・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	2	1
51	・財務について会計監査が適正に行われているか	3	2	1
52	・財務情報公開の体制整備はできているか	3	2	1

財務の項目については、前年度に比べ、「会計監査」と「情報公開」の項目の評価が下がっている。

「職業実践専門課程」が認可されたことにより、財務面も含めた情報公開を定期的に行わなければならないため、より一層の情報公開が求められている。

## (9) 法令等の遵守

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1		
53	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	2	1
54	・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	2	1
55	・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	2	1
56	・自己評価結果を公開しているか	3	2	1

法令等の遵守の項目については、前年度に比べ、「法令・設置基準等」項目の評価が下がっている。毎年、課題として挙げられている自己評価の結果の公開や自己評価で挙げた問題点の改善について具体的な取組方法を提示、公開してほしいとの意見が挙げられている。

## (10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	優れている・・・3、適切・・・2 改善が必要・・・1		
57	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	2	1
58	・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	2	1
59	・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3	2	1

社会貢献・地域貢献の項目については、前年度と比べ、「ボランティア活動の奨励・支援」「公開講座・教育訓練の受託等」に関する項目の評価が下がっている。地域貢献として、地域イベントへの積極的な参加は良いことであるが、イベントと学校のスケジュールが合わない場合がある。また、公開講座については、なかなか集客できないため、集客方法について検討すべきである。

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果としては、職業実践専門課程の認可を受けたことにより、実践的な職業教育を行うために、教職員の質的向上はもちろんであるが、学生の選択肢を増やすために、実践的な教育を行う場としてのインターン先企業を増やすことが求められる。

それにより職業観を養い、就職活動を具体的に意識することにより、実際の就職活動に活かせるため、そのための環境作りを続けていくことが求められている。